

支援だより

茨城県立内原特別支援学校
支援部

令和6年度 第3号 (3月発行)

2月14日CO研修・情報交換会を行いました。

令和7年度就学・進学予定の児童生徒や今年度の個別支援についての情報交換会や本校で使用している教材・教具の展示を行いました。



箸やプリント、デジタル教材、
本校採択の教科書・教科用図書なども展示しました！



通学区内の幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校からの相談内容は… 行動面・社会面・学習面様々でした。その一部を紹介します。

離席をする児童・生徒に対して

担当の先生と一緒に考えた支援方法(一例)

例①休み時間に学習活動を箇条書きしたメモ(付箋)を机の端にはる。

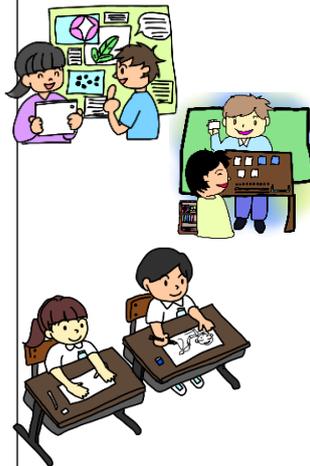
例②学習用アプリ(パワーポイントやキーノート)を使って、学習活動を提示する。

例③虫食いや枠が分かりやすいワークシートを用意する。

例④始まりと終わりをメモやノートの端に提示する。

例⑤椅子の高さ、座っている様子から座面や背もたれを調整する。

例⑥気になっているものを確認し、刺激の少ない座席を検討する。



数の学習について(3や5までの数)

担当の先生と一緒に考えた支援方法(一例)

例①おはじきなどの具体物の操作を行う。

例②指文字を使用する。

例③日常の中で数を意識する。

例④「Oください」(指文字も一緒に)と伝える。
(状況に応じて単位は言わないようにする)

例⑤発達段階を確認する。
(分類や弁別・抽出や統合・1対1・同等や多少・数詞・計数・集合数)

例⑥マスを使って並べて数える活動を設定する。
例⑦ドットや数字のカードと具体物を合わせる活動を設定する。

おしらせ

相談室にある図書の一部をご紹介します。保護者、学校見学で来校の方々、出向き相談を依頼の園・学校の方々へ貸し出ししております。ご希望の方は支援部までお問い合わせください。1か月を目安に返却をお願いいたします。



「気持ちが伝わるコミュニケーションアサーショントレーニング友だち編・家庭編」
(汐文社) 監修：平木典子、編著：鈴木教夫

☆自分も相手も大切にして、自分の気持ちや考え、意見を伝える表現方法について分かりやすくまとめられています。相手の考え方や結果の受け止め方についての考え方も人間関係をより良くしていくために参考になることがあるなど感じました。